

中国興業

中国興業は、創業以来40年超培ってきた知見とネットワークを生かし、国内外

でビジネス拡大を図っている。新規取り扱い商品の拡充と同時に、受託・委託加工の案件獲得も積極的に推進していく。松本研二社長は「前期中半期は急激な円高と非鉄相場の低迷で苦戦したが、固定費などの経費削減と社員全員の意識改革に取り組み、下半期に盛り返し前期も黒字で着地することができた。しかし

かし、世界情勢も不安定で今期も油断はできない」と語る。徹底して固定費削減に取り組みながら、国内および海外で販売先、仕入れ先のネットワーク強化に力を注ぐ構え。

同社の創業は1974年3月。資源有効活用の重要性に着目し、従来なら廃棄されていたものの加工を通じた価値ある商品づくりを目指した。そこで廃触媒やスクラップの回収、再利用を目的として立ち上げた。現在ではレアメタルの国際的リサイクルネットワーク

クの構築を通じ、限りある資源の枯渇への挑戦を続けている。

使用済み触媒やスクラップを回収し、ニッケルやコバルト、タンクステン、モリブデン、スズ、亜鉛、銅など非鉄金属やレアアース、超硬金属、貴金属のリサイクル利用につなげるのが同社の基幹事業。このほかりチウムイオン電池関連のスクラップの回収購入、ピスマス、マンガン、

コバルト、スズなどの地金販売、窯業原料、三酸化アンチモン、チアベンダゾールといった化学工業薬品の取り扱い、焼成・混合・篩・粉碎をはじめとする受託加工など事業領域は広い。

受託加工も積極的に受注

「足元の為替も非鉄相場も不安定だが、今までの固定概念に縛られず工夫して進んでいく」（松本研二社長）考え。機動力を重視しつつ、受託加工では一層の受注拡大を目指す。また海外を含め取り扱い品目やネットワークを広げていく方針。